

WORKING GROUPS

RESEARCH PROJECTS

# 海洋の仕組みと変動・変化を理解する

## — Scientific Committee on Oceanic Research (SCOR、海洋研究科学委員会)の活動と 日本の貢献 —

INFRASTRUCTURAL PROJECTS

CAPACITY DEVELOPMENT

### 海洋研究科学委員会



International  
Science Council

国際学術会議

SCOR

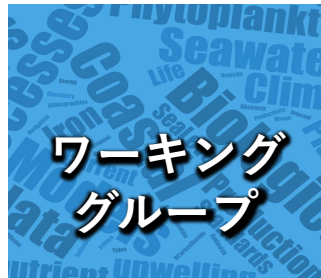
海洋研究科学委員会



国際学術連合会議 (ICSU; 当時) が1957年に設置した海洋研究に関する初めてかつ唯一の学際的学術組織

目的: 海洋に関する分野横断的な問題解決のための研究と国際協力の振興

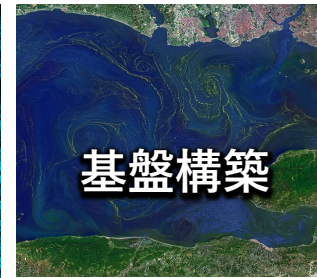
活動:



これまでに170のWG活動をサポート



大規模な国際研究プロジェクトの立案・調整のサポート



国際的な規格・標準や研究のための技術開発などのサポート



途上国研究者のSCOR活動への参画、人脈構築のサポート

一般社会とのつながり:

- 人々と海との関わりの理解や人類活動が海洋に及ぼす影響の管理や活用に資する知見を蓄積し、安定した社会活動を実現
- 海洋リテラシーの向上





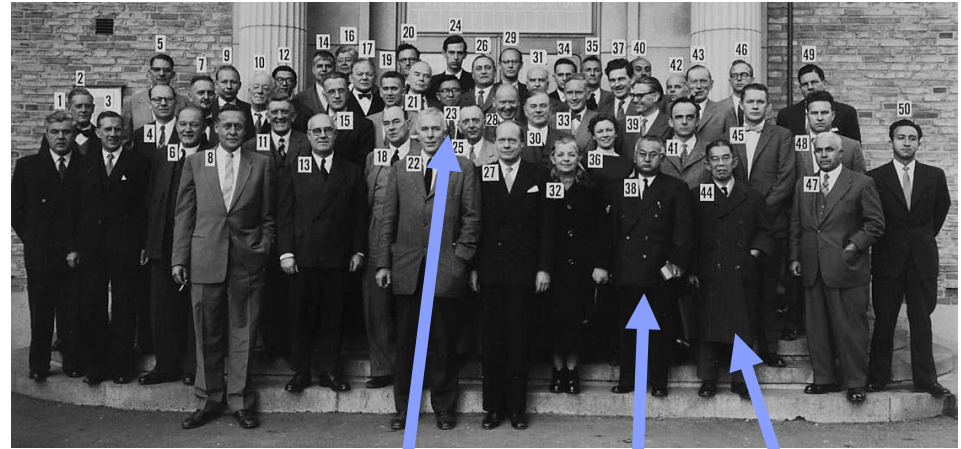
# SCOR(海洋研究科学委員会)とは？

- 国際科学会議(ICSU; 当時)が  
1957年に設置した海洋研究に関する  
初めてかつ唯一の学際的学術組織

1957-58年には、国際地球観測年(IGY)が実施された。このIGYを契機として、**海洋科学の諸問題の解決には真に学際的なアプローチが必要**であるという認識が世界の海洋研究者によって共有されることになる。SCORは、その実現のために設置された。

**目的:** 海洋に関する分野横断的な問題  
解決のための研究と国際協力の  
振興

1957年1月 SCOR事務局会合時の集合写真



23. 三宅泰雄先生 38. 日高孝次先生 44. 須田皖次先生

< 設立段階から日本人研究者が深く関与していた >

**SCORは基礎科学だけではなく、  
水産や工学系の課題まで海洋に  
関わる幅広い分野をカバーし、  
分野間の協力を推進**

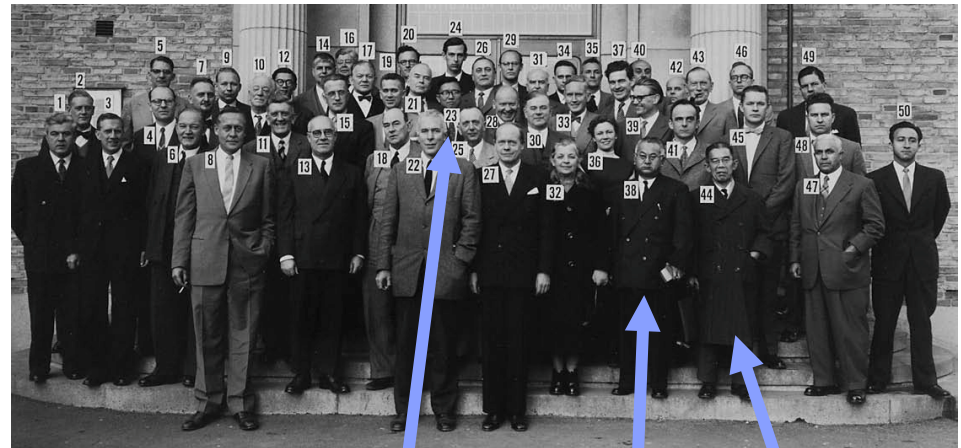
# SCOR(海洋研究科学委員会)とは？

- 国際科学会議(ICSU; 当時)が  
1957年に設置した海洋研究に関する  
初めてかつ唯一の学際的学術組織

1957-58年には、国際地球観測年 (IGY)  
が実施された。このIGYを契機として、  
海洋科学の諸問題の解決には真に学際的  
なアプローチが必要であるという認識が  
世界の海洋研究者によって共有されるこ  
とになる。SCORは、その実現のために  
設置された。

**目的:** 海洋に関する分野横断的な問題  
解決のための研究と国際協力の  
振興

1957年1月 SCOR事務局会合時の集合写真



23. 三宅泰雄先生 38. 日高孝次先生 44. 須田皖次先生

< 設立段階から日本人研究者が深く関与していた >

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

国連の「持続可能な開発目標  
(SDGs)」の考え方を先取り



「持続可能な開発のための国連海洋科学の10年」

# SCOR(海洋研究科学委員会)とは？

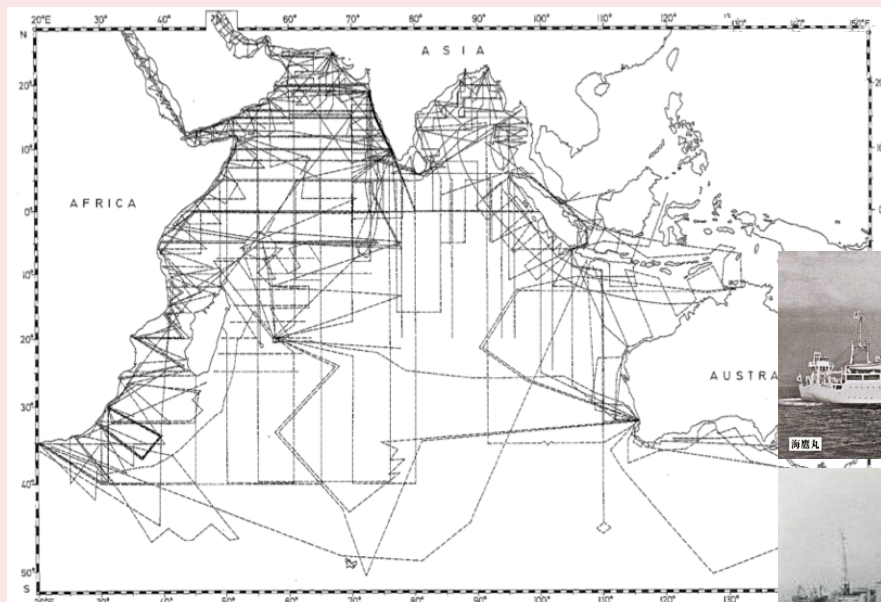


第1回SCOR年会での集合写真 (1957年8月)

最も未知の海洋であるインド洋の集中観測  
キャンペーン (国際インド洋調査; IIOE)  
を SCOR 最初のプロジェクトとして決定

三宅泰雄先生

## 国際インド洋調査 (IIOE; 1959-1965)



Cruise tracks of research vessels during the International Indian Ocean Expedition. Based on information from the Office of Oceanography, UNESCO Paris

- 国際的・分野横断的な海洋研究プロジェクトの中でも最も成功した1つ (先駆け)
- 14か国から 46 隻が参加
- 海洋の物理・化学・生物・地質・気象などの総合的な観測



耕洋丸 II



おしよろ丸 III



- 日本から 4 隻参加
- 化学成分分析の国際基準策定を主導